

## &lt;2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿&gt;

『ニチハエコ外壁プロジェクト』1956年、木材の端材を有効利用したハードボードメーカーとして誕生したニチハは創業以来培ってきた木材資源の活用技術を生かし、原料に国産木材チップを使用した外壁材「オフセットサイディング」、および国産木材の中でも間伐材に限定した外壁材「カーボンオフセットサイディング」の生産・普及を通じて、日本の森林資源を守り、地球温暖化防止に貢献する活動を行っています。木材の生長過程で吸収したCO2を閉じこめる(固定化する)効果に着目し、木繊維をすべて国産材とした「オフセットサイディング」の販売を2012年に開始。製品のCO2固定量を見える化し、一般住宅の居住者に環境貢献の実感を促す活動で現在も、これからも、環境との共生、建物のロングライフ化の実現を目指して新たな取り組みを続けていきます。

## &lt;SDGsに関する重点的な取り組み及び指標&gt;

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取り組み	指標 (更新時に向けた数値目標)	
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	『オフセットサイディングでのCO2固定化』 木材の生長過程で吸収したCO2を閉じこめる固定化効果に着目し、木繊維をすべて国産材とした商品(「オフセットサイディング」)を認知させる。 製品のCO2固定量を見える化し、一般住宅から公共建築物まで拡大させ、自治体に対して低炭素化への貢献量を認定するという新たな活動環境貢献意識を喚起する取り組みを行う。	項目	オフセットサイディングの製造・販売によるCO2の固定化数量
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		2,100トン	2,300トン
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	建築業界が抱える大きな環境課題である建築廃材の適正処理のため、「循環型社会を目指して、もう一度資源へ」をスローガンに、広域認定制度を活用した端材回収システム(窯業系サイディング及びセンチュリー耐火野地板端材回収リサイクルシステム)の普及を推進する。	項目	リサイクル数量
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		600トン	650トン
☑ 環境 ☑ 社会 ☐ 経済	建築現場で発生する廃棄物(製品の端材)を大幅に低減する製品出荷前プレカット(ラフカット)サービスと既存リサイクルシステムと合わせて持続的な完全循環型リサイクル事業モデルを推進する。	項目	ラフカットサービス坪数
		現状(2024年)	更新時(3年後)
		7,000坪	8,000坪

・「SDGsに関する重点的な取り組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取り組みを記載してください。なお、取り組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取り組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標項目と、現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。前期と同じ取り組みの場合は、現状の数値と下記の前期実績が一致しているかをご確認ください。

## &lt;パートナーシップ&gt;

■窯業系サイディング事業者では初となる「第二種木材関連事業者」として登録されており、クリーンウッド法に基づき、木材等の譲り受け、譲り渡し時に木材の合法性を確認し、合法伐採木材の流通及び利用の促進に取り組んでいます。  
■森林・林業・木材産業関係6団体で設立された国産材を活用し日本の森林を守る運動推進協議会の「日本の森林を守るために共に行動する企業」に認定されており、次世代に向けて健全な森林を引き継いで行く為、国産材の優先的な利活用に取り組んでいます。  
■林野庁が取り組む「木づかい運動」に登録されており、国産材の積極的な利用を通じて山林を活性化し、CO2を十分に吸収する健全な森林づくりに取り組んでいます。  
■モエンエクセラード、センチュリー耐火野地板は、製品本体に含まれる国産木材を体積比率50%以上使用した製品として一般社団法人全国木材組合連合会より「国産材マーク」使用許諾製品としての認定を受けています。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

## &lt;SDGsに関する重点的な取り組み及び指標に係るこれまでの進捗状況&gt;

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取り組み	前期の指標		
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	『オフセットサイディングでのCO2固定化』 木材の生長過程で吸収したCO2を閉じこめる固定化効果に着目し、木繊維をすべて国産材とした商品(「オフセットサイディング」)を認知させる。 製品のCO2固定量を見える化し、一般住宅から公共建築物まで拡大させ、自治体に対して低炭素化への貢献量を認定するという新たな活動環境貢献意識を喚起する取り組みを行う。	『オフセットサイディングの製造・販売により、毎年2,100トンのCO2を固定化。⇒2024年度目標指数2,200トン		
			進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
			販売数量がほぼ横ばいであったため未達成。	2,100トン
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	『窯業系サイディング及びセンチュリー耐火野地板端材回収リサイクルシステム』。建築業界が抱える大きな環境課題である「建築廃材の適正処理」。ニチハは「循環型社会を目指して、もう一度資源へ」をスローガンに、「広域認定制度」を活用した端材回収システムの普及を推進。	年間580トンのリサイクルを行う。⇒2024年度目標指数600トン。		
			進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
			リサイクルシステムがより認知される様になり達成。	600トン
☑ 環境 ☑ 社会 ☐ 経済	『ラフカットサービス』。建築現場で発生する廃棄物(製品の端材)を大幅に低減する「製品出荷前プレカット(ラフカット)サービス」。既存リサイクルシステムと合わせて「持続的な完全循環型リサイクル事業モデル」を推進。	年間12,000坪の商品のラフカットサービスを行う。⇒2024年度目標指数15,000坪。		
			進捗状況(実施状況および達成・未達成状況、未達成の場合理由記載)	前期の指標に対する実績
			元々指標を高く組んでいた事、リサイクルシステムが増えた事で未達成。	7,000坪

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取り組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取り組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取り組みの進捗状況」には、前期の重点的な取り組みの実施状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。

※提出前に全てセルが青色から白色に変更になっているかをご確認ください。